

SAQR16番外編「巖道か県道か、道志よう？」 解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A(距離計測)

ラリークラスは 0.01km単位、
ドライブクラスは0.1km単位で記入のこと

CP	対象クラス	距離
S~1 CP	R・D	7.81 km
1~2 CP	R・D	6.03 km
2~3 CP	R・D	6.92 km
3~4 CP	R	3.63 km
4~5 CP	R	12.65 km
5~6 CP	R	5.49 km
6~7 CP	R	6.74 km
7~8 CP	R	9.49 km
8~9 CP	R 巖道	8.45 km
9~10 CP	R	7.82 km
8~9 CP	R 県道	14.15 km
9~10 CP	R	4.28 km
10~11 CP	R・D	5.64 km
11~F CP	R・D	5.10 km

↑

R=ラリークラス D=ドライブクラス
ドライブクラスは5区間のみ解答して下さい

参加クラス	ラリークラス
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-B	1013
Q-C	① と ③
Q-D	9
Q-E	6
Q-F	眉
Q-G	関係者の自動車
Q-H	ココのお家
Q-I	瀧神橋
Q-J	説明文に出てくる数字を合計すると1013となり、Q-Bの作品番号と一致
Q-K ①	道の駅清川の行先表示
Q-K ②	(各高速道路から道の駅清川へ向かう途中に登場する行先案内板を示すことで)道の駅清川への案内
Q-L	EV急速充電設備は第1駐車場にもある
Q-M	ロープ断面図
Q-N	母子
Q-O	テニスコート
Q-P	9
Q-Q	炭焼き
Q-R	×「滝不動」 ○「不動滝」

Q-X1	あやめ
Q-X2	鳥屋小学校
Q-X3	八坂神社
Q-X4	235-2
Q-X5	ものいい石

SAQR16番外編「巖道か県道か、道志よう？」 解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A(距離計測)

ラリークラスは 0.01km単位、
ドライブクラスは0.1km単位で記入のこと

CP	対象クラス	距離
S~1 CP	R・D	7.8 km
1~2 CP	R・D	6.0 km
2~3 CP	R・D	6.9 km
3~4 CP	R	km
4~5 CP	R	km
5~6 CP	R	km
6~7 CP	R	km
7~8 CP	R	km
8~9 CP	R 巖道	km
9~10 CP	R	km
8~9 CP	R 県道	km
9~10 CP	R	km
10~11 CP	R・D	5.6 km
11~F CP	R・D	5.1 km

↑

R=ラリークラス D=ドライブクラス
ドライブクラスは5区間のみ解答して下さい

参加クラス	ドライブクラス
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

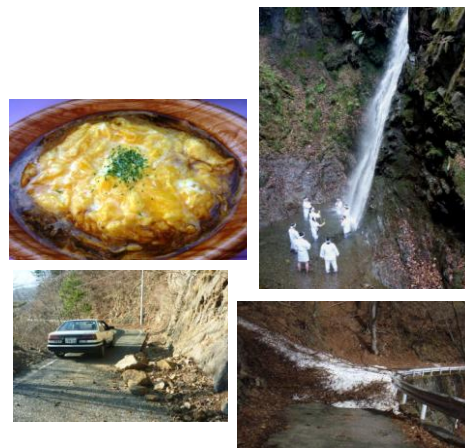
Q-B	1013
Q-C	① と ③
Q-D	9
Q-E	6
Q-F	眉
Q-G	関係者の自動車
Q-H	ココのお家
Q-I	瀧神橋
Q-J	説明文に出てくる数字を合計すると1013となり、Q-Bの作品番号と一致
Q-K ①	道の駅清川の行先表示
Q-K ②	(各高速道路から道の駅清川へ向かう途中に登場する案内設置個所を示すことで)道の駅清川への案内
Q-L	EV急速充電設備は第1駐車場にもある
Q-M	ロープ断面図
Q-N	母子
Q-O	テニスコート
Q-P	9
Q-Q	炭焼き
Q-R	×「滝不動」 ○「不動滝」

Q-X1	あやめ
Q-X2	鳥屋小学校
Q-X3	八坂神社
Q-X4	235-2
Q-X5	ものいい石

◆全体

公開間もなく巖道峠の先の土砂崩れに見舞われ、終盤には3CPの看板が撤去されるという逆境の中、両クラス合わせて24チームにご参加頂きました。SAQR/ぐるドラQを通して初参戦というチームも複数。今回の最大の特徴はルート選択ですが、結果は巖道ルートが14チーム、県道ルートが10チームとなりました。

成績の方は、ラリークラスは接戦となり、1-2位、3-4位、5-6位がいずれも同点で提出日の早さで順位が決定。そんな中、長谷部さんが久しぶりの優勝です。ドライブクラスでは地力の差を見つけた中村さんが優勝。11月のSAQR本大会への切符(SAQR賞)は、三宅さんと関さんが獲得です。11/18開催予定ですので、お待ちしております。



◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

今回も減点10がちらほら。もったいないです。また、もっとも短い距離にもかかわらず、3-4CP間で、距離が多くて減点を受けるチームが続出。この区間の特徴はヘアピンや鋭角右左折が複数あったこと、ダートがあったこと、ですが果たして関係あるのか？ 相変わらず距離計測は奥が深いと感じます。巖道ルート/県道ルートの区間はどちらもカーブが多いせいか、減点も目立ちました。巖道ルート選択チーム(ラリークラス)の、8-10CP合計減点は、11チーム平均で3.5。一方県道ルートのそれは、8チーム平均で6.5。ただし県道ルートで3チームに減点10があるため、これを除外した5チームに絞ると2.6。あくまで平均の話なので、どっちがお得だったかは何ともいえません。

Q-B(彫像の作品番号) 正解率=92%

これは場所さえ特定すれば解答は容易。その場所も、公園入口付近に情報がありました。ただしその案内板の番号「9」を答えただけの方、実際の作品は見に行かなかったのでしょうか。Q-Jの対象でもあるので、皆さん実物を確認しに行く想定だったのですが。



Q-C(同じローラー滑り台の写真) 正解率=71%

この公園には3台もローラー滑り台があったので、題材にしました。落ち着いて確認すれば難しくないのですが、1番上のと2番目を、つながった1台だと勘違いすると誤答しますね。

Q-D(社寺の数) 正解率=58%

注意すべき点は1つだけ。「尼寺」は地名として掲載されています。社寺とは記号が異なるし地図記号が無い点から推測する必要があります。



Q-E(牛のイラスト) 正解率=79%



市街地からいきなり田園地帯が広がる地点にある、このイラスト。ネットで調べても意図や経緯は分かりませんが、何とものどかな雰囲気一気に引き込んでくれるので、この場所に相応しいです。参加者にも同感の方がおられました。ある程度近付いて普通に数えれば良いのですが、間違えた方は遠くから数えたのでしょうか。

Q-F(お面の違い) 正解率=88%

この厚木ミュージアムホテルには、内部に全国の民芸品数千点があったり、出題を悩みましたが、入館できない場合に困るので、外から解答可能なものを選びました。裏返ったお面もあるので出題に悩みましたが、その影響を受けない形で問題文を考えた結果、このような出題になりました。

「眉」が含まれていれば正解としています。ちょっと迷ったのが「額の黒い丸」。眉ではなく描いたものだから表現に苦労したのでしょうか、正解にしました。正確には「殿上眉」というそうです。



Q-G(通行許可) 正解率=50%

論理思考問題です。複数の通行禁止情報から、残ったものは何か。落ち着いて考えれば分かると思うのですが、現地で拙速に解答すると間違えるかもしれません。右表のように整理すれば、残るのは「関係者の自動車」だけです。ただし「自動車」を「車両」に置き換えてしまった解答は不正解としました。「車両」だと二輪や自転車を含むことになってしまいますので。

	関係者	関係者以外
自動車		
二輪		
自転車		
徒歩		

徒歩、自転車、バイク進入禁止

関係者以外立入禁止

Q-H(順路の先) 正解率=100%

やっと全員正解が出ました。これは簡単でしたね。すぐ近くなのに、「順路」の札を複数立てて案内しているのが面白かったので出題しました。



Q-I(塩川滝の最寄の橋) 正解率=83%

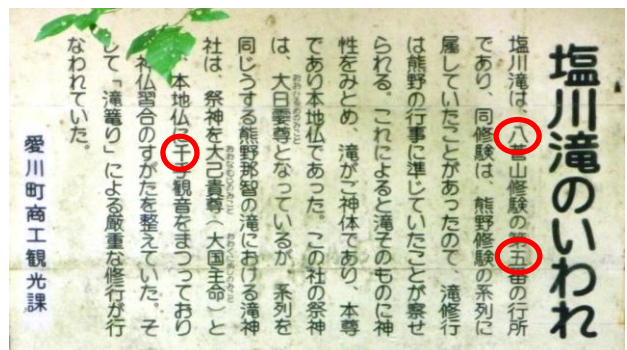
この塩川滝、今回のコースでは評判が良かったようです。意外な場所にあり、かなり近付けますからね。そう、この問題を解くために皆さん近付いた訳ですからね。これも全員正解候補でしたが、惜しくも成らず。名前を問うているので正確な解答が求められます。サンズイが落ちて「龍神橋」と答えた方、1つ手前の清龍橋を答えた方は残念でした。

Q-J(何かが一致) 正解率=0%

申し訳ありません、正解者ゼロを出してしまいました。悪問ですね。「真面目に考えないように」と注釈したのですが、真面目に考えた方が多かったです。また、「説明文」と「作品」の共通点であることには注意して欲しかったです。塩川滝そのものや、Q-B作品の説明文を比較対象にした解答も多かったです。塩川滝の説明文のほうは、登場する数字を合計する、という点にトンチが必要でした。

折角なので皆さんの苦勞の跡を紹介します。(要約して掲載しています)

- ・塩川滝と作品の関連を推理したもの
「僧」「滝修業」「自然が御神体」「石」「祈り」
- ・説明文同士に着目したもの
「句点が4つ」「表題と説明が違う」「文章が4つ」
- ・解説板に着目したもの
「解説板も作品も3つに割れている」「四角い土台」
- ・説明文と作品の共通点を挙げながらも残念なもの
「千手観音に見える」・・・そうですか？
「作品番号1013と千手観音」・・・一致までもう少し！



Q-K(周辺回遊のご案内) 正解率=①58% ②88%

道の駅清川村にあるこの案内看板、最初は意味が分からず、意味が分かってもし設置目的が分からず、とても奇妙です。参加の皆さんからも同様の感想を多くいただき、私の理解力の問題ではないことが証明され安心しました。って、それを確かめるための出題だったのか？

①はこの後の実際のルート上にも3箇所登場する(裏向きですが)ので、そこに何があるかを確認することで解答できます。行先標示板に「道の駅清川」が併設または付記されていました。(右写真を参照)

①が道の駅への案内ということなので、この看板は道の駅清川への案内がどこにあるかを示していることとなります。もう到着している人に、案内表示の位置を教えることに何の意味があるのか、参加者の皆さんと同様、私も理解できません。周辺に遊びに行っても、こんなに案内を出してあるから戻ってくる際に迷いませんよ、ここを観光の拠点にしてください、と解釈すればいいのかなあ。と、ここまで推理しなくても、この道の駅へ案内することに触れていれば正解としてあります。



Q-L(施設の現況不一致) 正解率=75%

CPの目印になっていたEV急速充電器。これが掲載されていませんでした。逆に、看板に載っているせせらぎ館前のEV急速充電器は、使用不可となっていました。CPの目印だから皆さん気づくだろうと思ったのですが。

「トイレが外」という解答がありました。建物として一体ですしこの看板でも屋内施設として載っています。また「役場前は階段」という解答については、もともとこの看板は、階段を施設として掲載していません。いずれもEV急速充電器よりも優位な解答とはならないので不正解としました。



Q-M(大柵沢広場のこれは何)

一旦作成したクイズですが、満車の場合に解答できない恐れがありました。公開直前にキャンセルしたのですが、正解は紹介しておきましょう。広場の先の方に行くと幾つかある説明板の中に、この図柄を見つけることができます。大柵沢橋のロープの断面図なのでした。

Q-N(獅子頭の関係) 正解率=79%

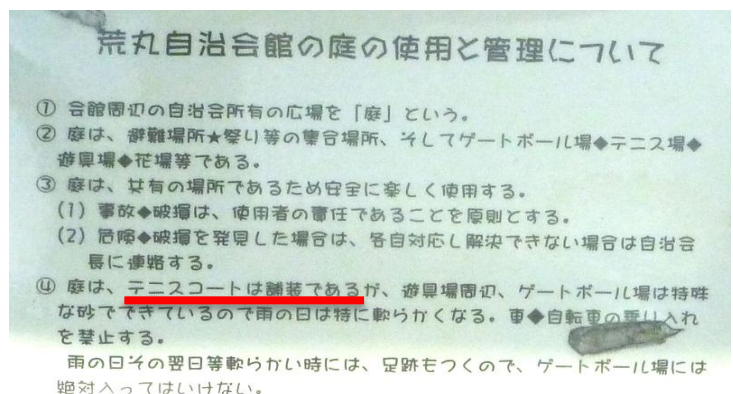
説明板に見分け方が載っています。父獅子=ネジ形の巻角2本、母獅子=角がなく額に宝珠。息子獅子=棒状の角2本。彫像の方は、これらの特徴をかなりデフォルメして反映してあるので、よく見ないと確認できないのが面白くて出題しました。

なお「親子」だと父子なのか母子なのか分からないので不正解です。

Q-O(荒丸会館の白線) 正解率=92%

駐車用の区画ラインと思ったが少しおかしい。自治会館の壁に貼ってあった注意書きを読んで納得、テニスコートでした。アスファルトの上でテニスなんて、とは思いますが。

ゲートボール場との解答がありました。右の写真の通り、舗装ではない場所がゲートボール場ですので、不正解としました。



Q-P(巖道峠の石碑) 正解率=62%

巖道峠に置いたこのクイズ、裏側も見ることがありました。表の碑文の最後に4名(団体)、なぜか裏にも5名(団体)が刻まれていました。裏を見なかったチームも、表を見なかったチームもあり平均減点は 3点×6チーム÷14チーム=約1.3 となり、県道ルート選択者へ与える減点は(切り上げルールのため)2点となりました。

ラークラスでの試算ですが、巖道ルート選択チームのこの区間の距離減点+Q-P減点を平均すると、約4.5、県道ルート選択チームのそれは4.3、となりかなり近い結果になりました。(距離減点10のチームを除いて計算)

Q-Q(ものいい石) 正解率=100%

秋山の民話から2問続けての出題です。この民話看板は昨年有志により設置されたものらしく、秋山の至るところに登場します。全部で41話もあるそうです。クイズの方は、説明を読めばすぐに分かるので、全員正解でした。

Q-R(竜神) 正解率=67%

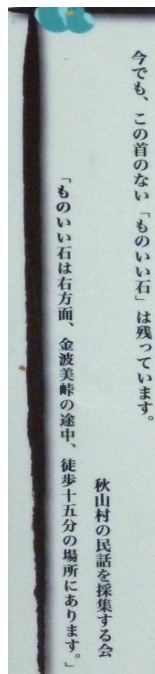
この場所に立つ看板は熟語がひっくり返る、という民話を追加したくなりました。問題文で示した誤字パターンとは関係ない誤字を拾ったものは不正解です。「滝不動」のルビが間違っている、という解答は、残念ながら間違っているのは漢字の方ですので、やはり不正解です。

Q-X 全体正解率=73%

- ・Q-X1 ほとんどの方が正解です。OD先の5図にありました。
- ・Q-X2 7CPの鳥屋地域センターの駐車場内に、説明プレートがありました。これも多くの方が正解でしたが、荒丸小学校とか清川小学校とかをひねり出した方も。
- ・Q-X3 これもほとんどの方が正解。8CPで見上げれば長い階段が見えます。ちょっとだけ上れば八坂神社と書いてありました。八幡神社は惜しかったですね。
- ・Q-X4 FCPの真横にありました。ほとんど消えかかっているのを読むのを諦めた方、10CPにあったものを解答した方が少しずつおられました。老眼の私でも何とか読めたので出題したのですが、皆さんも読みにくかったようです。ネットで調べても正解が得られたようです。
- ・Q-X5 減点3を配していることから分かる通り、作者の気持ちを忖度するクイズではありません。Q-Qの秋山の民話看板に、ここから徒歩15分で「ものいい石」に行けることが書かれていました。実際に見に行くと、リニア新幹線の工事現場となっており分かりにくくなっていましたが、説明看板はありました。



↑鳥屋小学校跡地の碑



↑ものいい石。写っているのは一部で、結構大きいものでした。確かにスパツと切ったように割れていました。

←秋山の民話看板の文末